

# 妙高病院便り vol.3



発行日：平成19年8月23日

発行元：新潟県立妙高病院

住所：新潟県妙高市大字田口  
147-1

TEL：0255-86-2003

家庭保存版 第II

神経内科について



## 神経内科とは Q & A

妙高病院で神経内科診療を行うようになって2年以上がたちます。でも神経内科はまだ一般の方々には理解されていない部分があるようで、精神科（神経科）と間違っ受診されたり、逆に神経内科に理解をいただけないために対象疾患を持っていながら受診されていなかったりしているように思われます。そこで神経内科についてQ&A形式で簡単にご説明することにいたしましょう。

### Q1 どのような症状で受診しますか

A 物忘れがする、頭が痛い、めまいがする、力が入らない（麻痺がある）、手足がしびれる、感覚が鈍い、うまく歩けない、手足がふるえる、けいれんなど神経系に障害が出たと思われる症状のすべてが対象になります。

### Q2 神経内科の病気にはどのような病気がありますか

A 脳や脊髄の病気としては脳梗塞、脳出血、アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、髄膜炎、多発性硬化症、緊張性頭痛、片頭痛、てんかん、など、末梢神経の病気としては多発性神経炎、神経痛など、筋肉の病気としては多発性筋炎、重症筋無力症、筋ジストロフィー症など、その他として頸椎症、腰椎症などの疾患まで、頭のとっぺんから足先まで様々な病気があります。

### Q3 どのような検査をしますか

A 一般的な診察、神経学的診察が一番大切ですが、そこまででかなり診断がつきますが 妙高病院で行えるものとしてCT、レントゲン、脳波など神経内科に特有の検査と一般内科と同様な血液尿検査、心電図、胃カメラ、エコーなどの検査を必要に応じて行います。必要に応じて中央病院でMRI、電気生理検査などを行うこともあります。



### Q4 外来診察、入院について

A 外来診察については内科などの他科と比べて何ら特別なことはなく、患者さんの訴え、どのように病気の症状が出てきたのかという現病歴、同じような病気の人がないかなどの家族歴、今までにかかった病気はという既往歴などの聴取の後に一般内科的診察である聴診打診などと、目の動きを見たり、手足の動きや、体の固さ、運動のスムーズさを診たりする神経学的診察を行います。そのため診察には少し時間がかかることがありますが、ご容赦ください。

なお、妙高病院では火曜日の午後1時半から3時過ぎまで外来をやっております。診察で入院が必要だと判断したときには入院をしていただき精査加療を行います。脳梗塞などで内科の先生方をお願いして妙高病院に入院される場合と中央病院に来ていただいて入院の場合とがあります。(現在の病態、今後の経過、治療についてきちんとご説明の上、同意ある場合のみ入院となります。また、ご希望の病院があればご紹介いたします。同意のない入院や、治療を行うことはあり得ません。外来治療においても同様です。)

#### Q5 精神科、脳神経外科との違いは何ですか

A まず神経内科で扱う病気では神経系(脳、脊髄、末梢神経、筋肉など)に器質的変化があつて症状を出している患者さんすべてを扱います。また治療法は名前にもあるとおり内科的治療(内服薬で治療する)で行います。精神科(神経科)との違いは精神科は主に心の病(精神分裂病、躁鬱病、神経症など)を扱うところです。脳神経外科は神経内科と同様に神経系に生じた病気を扱いますが、神経内科との違いは脳外科は外科系であり脳、脊髄の手術を行う病気を対象としている点異なります。すなわち、脳腫瘍、くも膜下出血、慢性硬膜下血腫、脳外傷などの疾患を扱います。しかし頭痛、脳血管障害などは神経内科、脳外科ともに扱うことも多いと思われます。

#### Q6 神経内科外来で多い症状である頭痛について

A さまざまな疾患から頭痛が起こります。多くは下に述べる片頭痛、緊張型頭痛による頭痛ですが、それ以外にくも膜下出血、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、髄膜炎、脳炎など様々な病気から頭痛は起こりますから、慢性的に頭痛を抱えている人でも、一度は専門医に診てもらい、CTなどの検査を行い、診断を確定しておく必要があると思われます。以下に、皆様の参考までに、代表的な2つの疾患について述べます。

#### 【片頭痛】

片頭痛は血管性の頭痛です。なにかの誘因があつて、脳血管にけいれんが起こり、その後収縮が起こって脳の虚血が生じ前兆(まえぶれ)が表れます。その後血管が拡張することによって頭痛が出現するといわれています。十から二十歳代で発症し、女性に多い頭痛です。また、家族のなかに片頭痛もちの人がいることが多いのも特徴です。

片頭痛といっても頭の片側だけが痛むのではなく、痛む場所はあちこち移動することがあります。

#### 【症状】

古典型片頭痛といわれる前兆のあるタイプでは、前兆(まえぶれ)として頭痛の前に目の前がぴかぴかしたり、目がみえにくくなったり、からだの片側がしびれたり、感覚が鈍くなったりするという症状がみられます。前兆は数秒から数分、最長で約一時間ほど続きます。しかしほとんどは、前兆がなく突然頭痛が起こる普通型片頭痛です。脈拍に合ったズキンズキンという拍動性の頭痛で、頭の片側だけでなく、全体が痛む場合もあります。

また、吐き気や嘔吐、悪心を伴うこともあります。頭痛は四、五時間でおさまるものや、一日二日と続く人もいます。また、この頭痛は一生続くのではなく、ある年齢になると自然に軽快消失するようです。その年齢は人により違うのですが。

#### 【診断と治療】

心配のない頭痛かどうかは、多くは問診でわかることが多いです。必要な場合はCTやMRIなどで頭痛の原因となる疾患がないことを確認し、薬物療法を行います。

片頭痛の発作が起きたあとには、血管を収縮させる薬を用います(エルゴタミン製剤、トリプタン製剤)。注意点として、決められた時間は空けて服用してください。間隔をあげずに服用すると脳梗塞等の副作用が出ることがあるといわれています。発作予防としては、血管のけいれんを防ぐために血管を拡張させる薬を服用します。

鎮痛剤の連用が薬剤の依存性をつくって逆に頭痛を悪くしてしまうという薬剤依存性頭痛になることもあるので注意が必要です。

#### 【筋緊張性頭痛】

片頭痛が血管性の頭痛なのに対して、筋緊張性頭痛は、顔面や頭部、頸部などの筋肉の過度な緊張が原因で起こる頭痛です。

年齢に関係なく起こります。なぜ筋肉が必要以上に緊張を続けるのかはわかっていませんが、仕事、その人の姿勢、精神的な誘因も見逃せません。

### 〔症状〕

筋緊張性の頭痛は押さえつけられるよう、締めつけられるよう、鈍くしつこい痛み、なにかかぶったような感じ、孫悟空の輪がかかったような感じなどと表現されることが多いようです。非拍動性で、後頭部や頂部に起こりやすく、嘔吐や悪心は伴わないのが普通です。頸のコリ、肩のコリを自覚する人も少なくありません。

発作は朝よりも午後から夕方にかけて多く起こり、数時間から一週間近く続くものまでさまざまです。

### 〔診断と治療〕

片頭痛の際と同じように、鑑別診断が行われます。筋緊張性頭痛の場合は、さらに頸椎のレントゲン撮影で頸椎症でないことや眼科診察で緑内障や屈折異常(乱視、老眼がないこと)を確認します。薬剤療法を行います。鎮痛剤とともに、筋弛緩剤を用いることもあります。

なかには片頭痛の特徴も併せもった混合性頭痛のこともあります。混合性の場合は、薬をいろいろ試してみてもっとも効果のあるものを服用します。

どんな薬を服用しても効果がない場合は、心因性の頭痛を疑います。これは不安やうつなどの心の状態がもとになって起こる頭痛です。この場合は、精神安定剤や抗不安薬の服用、精神神経科の治療も併せて行います。

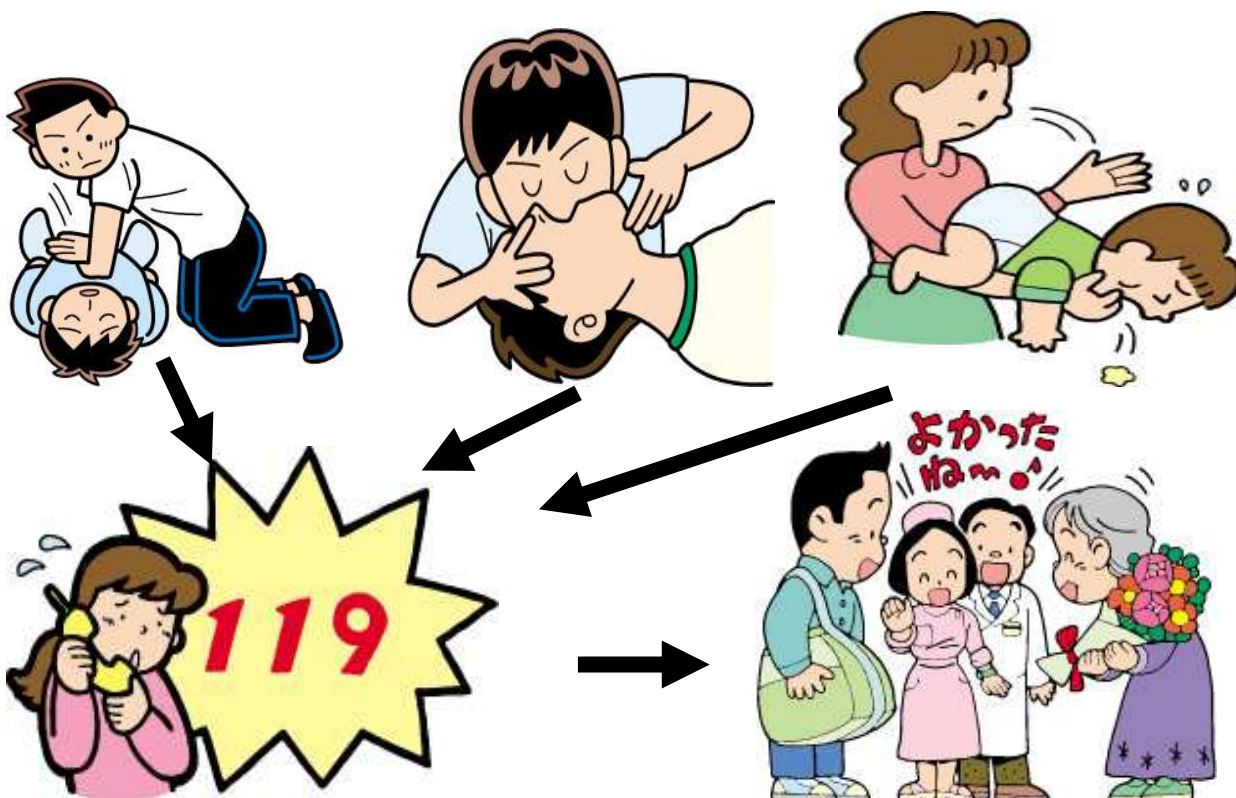
### 慢性頭痛を防ぐ生活

慢性頭痛の誘因にはいろいろなものがあります。発作をくり返すうちに、なにが自分の頭痛を引き起こしているかわかるようになっていきますのでそれらを遠ざけておくことが予防の第一歩です。さらに過労を避け、ストレスをため込まないことも必要です。睡眠を十分にとり、入浴やマッサージなどで、からだど心の緊張をときほぐす工夫をしてください。また、合わないメガネや歯の不調なども原因になることがありますので、発作が続く場合は一度チェックしておきましょう。

最後に、お気兼ねなく妙高病院神経内科をご利用ください。

(文責 神経内科部長 田部浩行)

### 家庭で出来る応急処置



## お知らせ

### 禁煙相談受付のお知らせ

当院内科では、禁煙の相談を行っています。ご希望の方は内科外来に 15 時～16 時 30 分頃の間にお電話して頂き、受診予約を行ってください。

直接来院された場合は、受診までかなりお待ち頂く場合があります。

TEL:0255-86-2003



### 各種ワクチンの接種をご希望される方へのお知らせ

各種ワクチンの接種を電話にて予約される場合は、15 時～16 時 30 分頃の間にお電話を頂くようにお願いします。皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 糖尿病教室開催のおしらせ

9月14日(金)から10月5日(金)まで4回にわたり糖尿病教室を開催します。当院を受診していない方も受講可能ですので、ぜひご参加ください。詳しくは、内科外来までお問い合わせください。(お電話は、午後3時以降にお願いします。)

### ホームページ開設のおしらせ

当院のホームページを開設しております。ぜひご覧ください。

アドレス：<http://www.myoukou-hsp.gr.jp>



## 妙高病院診察医師一覧

平成19年8月1日現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	受付時間	診療時間	摘要
内科	1診	岸 本	岸 本	佐 藤	岸 本	佐 藤	8:30～ 11:30	9:00～12:00 ※月・水・木曜日は 予約の午後診療有 り 13:30～	主に予約診療 担当
	2診	堀	佐 藤	岸 本	堀	堀		9:00～12:00	新患・予約・健診 担当
神経内科			中央病院 田 部				8:30～ 14:00	13:30～14:30	
小児科		中央病院 須 田	中央病院 丸 山	中央病院 山 口	中央病院 金 子	中央病院 井 埜	8:30～ 11:30	9:00～12:00 13:30～15:00	午後に受診希望 の場合は、事前 にご連絡くださ い
整形外科		中央病院 工 藤		中央病院 祖 父 江		中央病院 梶 谷	8:30～ 11:30	10:00～12:00	月曜は、第1・ 第3・第5の週
眼 科				中央病院 山井/竹内			8:30～ 14:30	14:00～15:00	
泌尿器科				中央病院 片桐/宮島			8:30～ 14:30	14:00～15:00	
耳 鼻 咽喉科			中央病院 医 師				8:30～ 14:30	14:00～15:00	担当 医師 花澤 森田 植木
皮膚科				濱 田			8:30～ 14:00	13:00～15:00	第2・第4水曜 の午後